



ふるさとへ本のプレゼント

久米島町出身の作家・よざていこさんから、自身が書いた児童書「家電と話すおばあちゃん」12冊が町へ寄贈されました。いただいた児童書は、町内幼稚園、小中学校の本棚へ並びます。よざさんは「久米島の子どもたちのために」とふるさとを想い、寄贈されています。

▲本人がご高齢のため、甥の盛本實様(写真右)が代理で贈呈

久米島の未来をともに 佐賀大学へ感謝状を贈呈

8月27日(水)に町役場応接室で佐賀大学へ感謝状を贈呈しました。佐賀大学海洋エネルギー研究所は平成25年から久米島で海洋温度差発電(OTEC)の実証実験を行い、深層水の産業利用を進めてきました。発電後の海水を産業利用する複合利用に活用する「久米島モデル」の要となっています。これにより関連企業の拡大、生産額の向上、新規規雇用を創出するなど、地域産業の活性化に大きく貢献しています。久米島モデルは国内外から高い注目を集めており、今回その功績をたたえ表彰しました。



玉城千春さん 町長を表敬

久米島まつり1日目のスペシャルライブに出演した「kiroro」のボーカル・玉城千春さんが、9月19日(金)に町役場を訪問し、町長を表敬しました。玉城さんは「久米島の皆さんへの感謝を伝えたく、精一杯歌いたい」と笑顔で語りました。まつり当日は、その言葉どおり温かく透き通る歌声で会場を包み、来場者から大きな拍手が送られました。

島のファンをつなぐ絆 これからも

久米島ファンクラブが設立15年を迎え、記念事業を開催しました。9月20日には久米島まつりのステージで感謝状贈呈式、翌21日には具志川改善センターで昼食交流会が行われました。贈呈式には、設立当初からの会員11世帯(19名)のうち4世帯(7名)が参加。交流会には、会員・元会員をはじめ、桃原町長や町関係者など総勢約60名が集まりました。会場では、これまでの歩みを振り返りながら、島を応援し続けてくれる皆さんを、町女性会メンバーによる余興と手作りの沖縄料理でもてなしました。

